

資料

“赤城山産”のラベルをもつサンショウバラの標本について

大森 威 宏

群馬県立自然史博物館：〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1

キーワード：群馬県，植物標本，五味コレクション，サンショウバラ

サンショウバラ (*Rosa hirtula* (Regel) Nakai) は富士・箱根周辺に固有な典型的なフォッサマグナ要素の低木である(前川 1977; 大橋ほか 1989)。元群馬大学教育学部教授・五味禮夫氏(故人)のコレクションの中から、「サンショウバラ 赤城山 牧野先生命名」のラベルが付けられた標本が見いだされた。このコレクションは、五味氏が旧群馬女子師範学校、さらに群馬大学教育学部に保管していた標本の寄贈を受けたものである。今回見いだされたサンショウバラの標本は、1906年6月赤城山にて採集されたヤマブキソウの標本などとまとめられていたため、この頃採集されたものと推定される。ただし、サンショウバラの標本には採集年月の記入はなく、採集者は不明である。

さらに「牧野先生命名」とラベルにあるが、明治末期に牧野富太郎氏による赤城山の採集踏査の記録はなく(里見哲夫氏の私信による)、赤城山のサンショウバラについての記録もない。さらに、国内の主要な文献ではサンショウバラの分布域はいずれも富士箱根とそれに隣接する地域とされ(金井 1958; 奥山 1959; 高橋 1971; 大井 1983; 大橋ほか 1989)、群馬県植物誌や過去の県の調査報告書にも赤城山からサンショウバラの報告はない(戸部ほか 1968; 戸部ほか 1987; 須藤ほか 1996)。サンショウバラは目立つ花をつけ、とげのある果実にも特徴があるため、赤城山に自生していれば、その後も採集され、文献記録があってもおかしくない。このため、富士・箱根地方のサンショウバラの標本が赤城山のヤマブキソウなどの標本に混入したまま、まとめて「赤城山産」のラベルが作製されたものである可能性が高いと考えられる。

一方では赤城山には、フォッサマグナ要素とされるヤマナシウマノミツバ、フジアザミが分布し、また、赤城山の西に位置する榛名山にもカナツギが分布している(戸部ほか 1987)。しかし、これらの植物は八ヶ岳山麓や軽井沢周辺など、富士・箱根地域から赤城・榛名までの間に複数の分布域をもつ(高橋 1971)。この点、ヤマナシウマノミ

ツバなどの分布パターンは富士・箱根地域に限定されるサンショウバラとは異なる。

以上の点から、今回赤城山産のラベルがつけられたサンショウバラの標本が群馬県立自然史博物館・五味禮夫コレクションから見いだされたが、これは他地域の標本が赤城山の標本に混入し、誤ってラベルがつけられた可能性が高いと判断せざるを得ない。

証拠標本：GMNH BS-65153 赤城山 採集年・採集者不明 牧野富太郎氏同定？

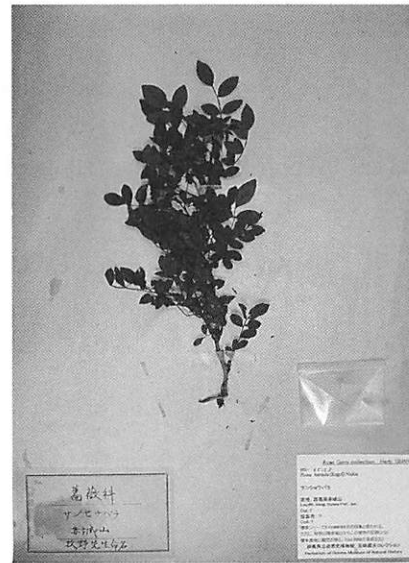


図 サンショウバラ標本 GMNH BS-65153

謝 辞

神奈川県立生命の星・地球博物館・勝山輝男氏にはサンショウバラについての情報をいただいた。下仁田町教育長・里見哲夫氏にはサンショウバラについての情報とともに、本県における植物採集史についてご指導いただいた。深く感謝の意を表する次第である。

文 献

- 金井弘夫 (原 寛監修) (1958) : 「日本種子植物分布図集 第1集」井上書店, 14p.+100pls. 東京.
- 前川文夫 (1977) : 「日本の植物区系」, 玉川大学出版部, 178p. 町田.
- 大橋広好・榎山泰一・大場秀章 (1989) : バラ科, 「日本の野生植物木本 I」, 平凡社. pp.179-228. 東京.
- 大井次三郎(1983) : 「新日本植物誌 顕花編」, 至文堂, 1716p. 東京.
- 奥山春季 (1959) : 「原色 日本野外植物図譜 4 夏から秋の植物 (II)」, 誠文堂新光社. 174pp. 東京.
- 須藤志成幸・吉井広始・鈴木伸一 (1996) : 赤城山維管束植物目録, 良好な自然環境を有する地域学術調査報告書 (XXII), 46-76. 群馬県.
- 高橋秀男 (1971) : 「神奈川県立博物館調査研究報告 自然科学第2号 フォッサ・マグナ要素の植物」神奈川県立博物館. 63p.+172Figs.
- 戸部正久・里見哲夫・島野好次 (1968) : 群馬県の高等植物目録, 「群馬県植物誌」(群馬県植物誌編集委員会編), pp.15-160., 群馬県高等学校教育研究会生物部会・群馬生物教育研究会, 前橋.
- 戸部正久・里見哲夫・島野好次・須藤志成幸・松澤篤郎 (1987) : 群馬県自生高等植物目録, 「群馬県植物誌 改訂版」(群馬県高等学校教育研究会生物部会「群馬県植物誌改訂版」編集委員会編), pp.153-393., 群馬県, 前橋.

Abstract

On the specimen of *Rosa hirtula* (Regel) Nakai collected in Mt. Akagi

OHMORI, Takehiro

Gunma Museum of Natural History : 1674-1, Kamikuroiwa, Tomioka, Gunma, 370-2645, Japan

A specimen of *Rosa hirtula* was found in the herbarium collection of Gomi Ayao. *R. hirtula* is known as a endemic species in Fuji-Hakone district, and has not

been reported in Mt. Akagi or surrounding districts. Therefore, the locality of the specimen is doubtful.

Key words : Gunma Prefecture, Herbarium Specimen, Gomi kollection, *Rosa hirtula*